



アート活動をはじめようとする 事業所のファーストステップに 伴走する企画

パスレルが事業所への

アーティスト派遣のお手伝いをします！

本プロジェクトは、障がいのある方およびその方々に関わる事業所とアーティストとのコラボレーションによる創作活動の『体験』にスポットを当て、これまでアート活動に関わったことのない事業所や障害のある方にアート活動を体験する機会を持っていただくことを目的としたプロジェクトです。また、単に事業所に対してアーティストを派遣するのではなく、派遣するアーティストの人選、体験する内容を含め、当センターと連携しながら探索するプロセスを体験していただくことで、事業所や障害のある方が事業終了後も継続してアート活動を行っていくことができるようになることを目的としています。

募集期間：2025年5月16日 金 ~ 6月13日 金

アート活動をはじめようとする事業所のファーストステップに伴走する企画

● 実施対象

中国・四国地方の以下に挙げるいずれかに該当する団体等（以下「事業主体」という。）とする。

- ・ 障害者総合支援法下の施設
障害者支援施設、就労支援施設、共同生活援助（グループホーム）事業所 等
- ・ 児童福祉法下の施設
放課後等デイサービス、福祉型障害児入所施設、医療型障害者入所施設 等

※上記以外で本プロジェクトへの参画を希望される場合は、当センターまでお問い合わせください。

● 募集条件

- (1) 中国・四国地方に住所（所在地）がある事業主体であること。
- (2) 障害のある方（身体障害、知的障害、精神障害(高次脳機能障害、発達障害を含む)その他の心身の障害のある方）が含まれる活動であること。
- (3) 事業を確実に実施できる体制等を備え、運営、実施、体験レポートの作成まで責任をもって行うことができる事業主体であること。
- (4) 特定の政治、宗教、営利活動を目的とした事業主体でないこと。
- (5) 暴力団又は暴力団員等が経営又は運営をする団体等の活動にかかわる事業主体ではないこと。

● 活動内容

- (1) 当センターと連携しながら、アーティストとどのような活動を体験するか（美術分野・舞台芸術分野、他）、派遣依頼するアーティストの選定、訪問支援日および体験内容の計画を行う。
 - (2) 計画を元に、アーティスト派遣による活動の体験（1回）を実施する。
 - (3) 体験終了後、必要書類を提出する。
- ※ご提出いただくもの：アンケート、活動中の写真、体験レポート（A4 1枚程度）

● 活動場所

原則として、実施主体が普段活動の拠点としている場所での活動とする。

● 実施に伴う経費

採択された団体へ当センターより下記経費をお支払いします。

- 1) 招聘アーティストの交通費
- 2) 合計4万円までのその他経費（アーティスト謝金、材料費など）

● 募集団体数

各県1団体

● 応募方法

- (1) 別紙1「申込団体情報」に必要事項を記入し、メール、FAX、郵送にて以下までご提出ください。
- (2) 募集締切 令和7年6月13日(金) 17:00必着
- (3) 提出先

〒780-8014 高知市塩屋崎町2丁目12-42

中国・四国 Artbrut Support Center passerelle（パスレル）

メール： passerelle@blue-sky-kochi.com FAX：088-803-4420

● 決定の通知について

- (1) 申込みが多数の場合は、当センターと応募のあった県の支援センターと協議を行い選定します。
- (2) 助成決定の通知：通知は全ての申込者に対して文書でお知らせします。なお、審査の経緯については非公表とし、審査結果に対する異議申し立てはお受けできませんので、ご了承ください。

● 事業実施主体

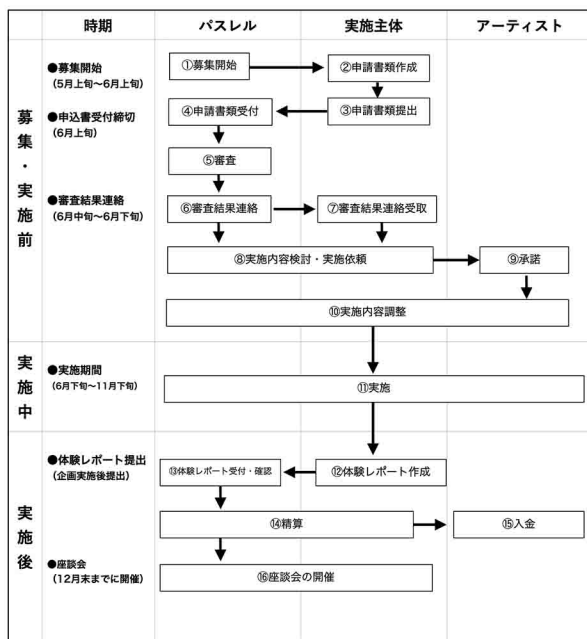
NPO法人脳損傷友の会高知青い空／中国・四国 Artbrut Support Center passerelle（パスレル）

〒780-8014 高知県高知市塩屋崎町2丁目12-42

Tel：088-803-4100 Fax：088-803-4420

Mail：passerelle@blue-sky-kochi.com

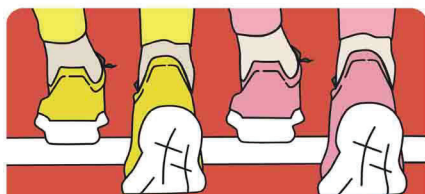
※本事業は、厚生労働省令和7年度障害者芸術文化活動普及支援事業の一環として実施しています。



実施内容および実施スケジュール

本企画における過去の取り組み
事例はこちらから（P38～）ご
確認ください。





アート活動をはじめようとする事業所のファーストステップに
伴走する企画

本企画はこれまでアート活動に関わったことのない事業所や障害のある方にアート活動を体験する機会を持っていただくことを目的にスタートしたパスレル主催プロジェクトです。

取組事例1 ひなたぼっこ (山口県)

招聘アーティスト 村川 博司 さん、隅野 繁夫 さん、三芳 隆資 さん

実施内容 竹を使ってアート活動をしてみよう!

子どもたちの自信に繋がった事例

私たちは、様々な大きさ・長さの竹を使ってジャングルジムや装飾品などを制作するワークショップを企画しました。当日は子どもたちがうまく入り込めるかドキドキでしたが、そんな心配もすぐに消え、子どもたちの方が積極的に大人と関わりながら楽しい時間を共有し、あつという間の1日でした。実施後に設けた2週間の展示期間中、自分達も関わって作ったという思いから、参加できなかった友達に色々説明したり使い方を見せたりする姿は、自信に満ち溢れた様子でした。今後も今回のような企画をたくさん取り入れながら、自分達でもできる、自信が持てる活動を実施していきたいと思います。

活動の様子



取組事例2 つくしんぼ作業所 (広島県)

招聘アーティスト 玖島 雅子 さん

実施内容 ダンスワークショップ『バリケード・ダンス』

型に捉われない体験を通して活動の視野が広がった事例

長机をバリケードのように積み上げてその周りに色を染み込ませたトイレトペーパー、毛糸、スズランテープなどを巻いたり投げたりして壁にするなど、カラフルでこの場でしかできないバリケードハウスをみんなで作りました。完成したバリケードハウス内で全員で踊ったり、1人1人が即興で踊ったりしました。今回の事業をきっかけに、いろいろなアートがあって自己表現できるものがあって、何でもできちゃう!ということが体験でき、今後の活動の視野が広がりました。

活動の様子



活動の様子



取組事例3 児童デイこころ国府 (徳島県)

招聘アーティスト 原田 たけし さん、嵯峨山 高広 さん

実施内容 こころのねずこ制作

アート活動がコロナ禍による活動の狭まり感を払拭するきっかけとなった事例

コロナ禍で活動の狭まり感や新しいことへチャレンジすることの難しさを感じていたところに本企画のことを知り、参加させていただきました。絵本作家の原田たけしさんにお声がけし、ご本人による絵本の読み聞かせに加えて、事前に用意していただいた白のダンボールのねずこ(子供たちが好きな絵本の登場人物)に色を塗るワークショップを行いました。「児童デイこころ」と「児童デイこころ国府」を統合して初めての大きな行事になりましたが、児童たちは新しい内容に臆することなく、積極的に取り組んでいました。

取組事例4 ゆずぽっぴ (香川県)

招聘アーティスト mimika さん

実施内容 mimikaクリスマスライブ

利用者さんの想いが実現した事例

利用者さんがもっと多くの体験をし、いろいろな人と触れ合って世界を広げていけたら、と思い応募しました。アーティストとしてmimikaさんを招聘し、一緒に歌ったり踊ったり、パネルシアター、けん玉大会など盛りだくさんの内容でした。以前からmimikaさんの大ファンである中学生の男子は、ご家族勢揃いで来てくださり、弟さんとともにけん玉大会に挑戦し、場を盛り上げてくれました。長年、mimikaさんの追っかけをしていたご夫婦は、ご主人の難病によりライブに行けなくなりましたが、デイサービスでまさかの再会! mimikaさんと3人で感激のあまり大泣き、といった場面もありました。今後は、美術、演劇、音楽など多方面からアーティストさんをお招きし、利用者さんに楽しい世界をもっともっと知って欲しい、そんな思いでいっぱいです。

活動の様子

